

2021年度 研究力伸張セミナー

連携×統計セミナー2021 初級編 アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、香川大学との連携・統計セミナー2021において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 統計セミナー2021 当日受講者
- 3)調査方法 統計セミナー2021 終了後、Web アンケートへの回答をメールにて依頼
- 4)調査期間 2021年10月15日(金)～29日(金)

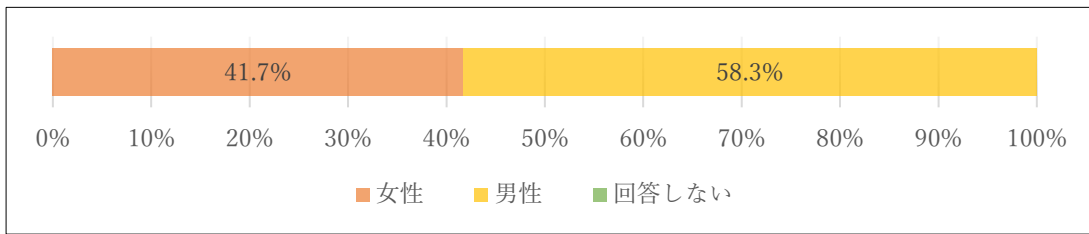
■アンケート集計結果

回答数 対象者 118名、回答者 60名
回答率 50.8%

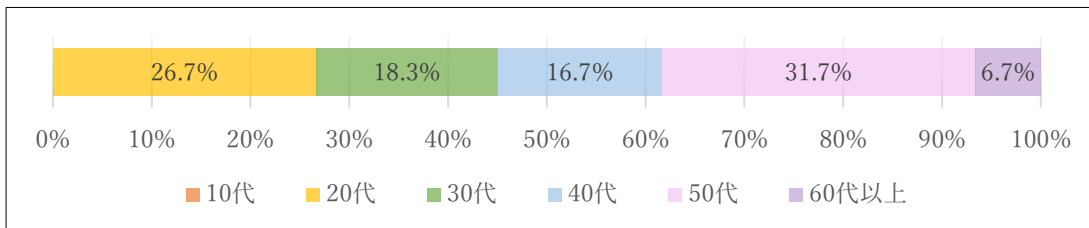
■アンケート調査結果

○回答者の属性

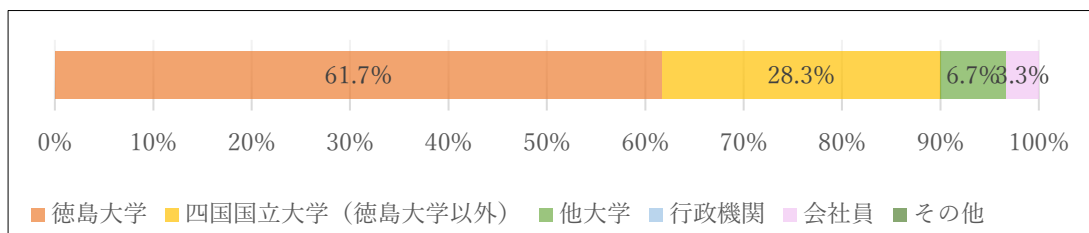
◆性別



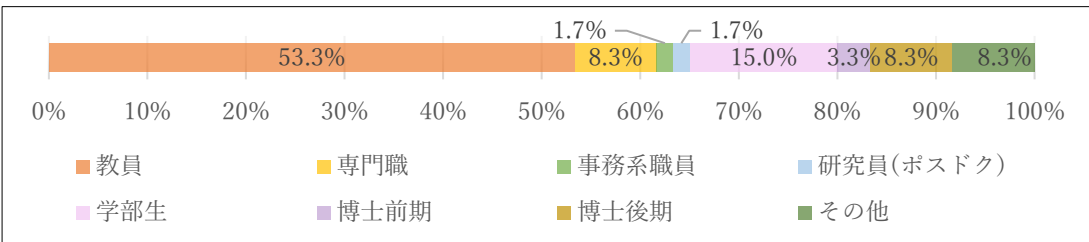
◆年齢



◆所属

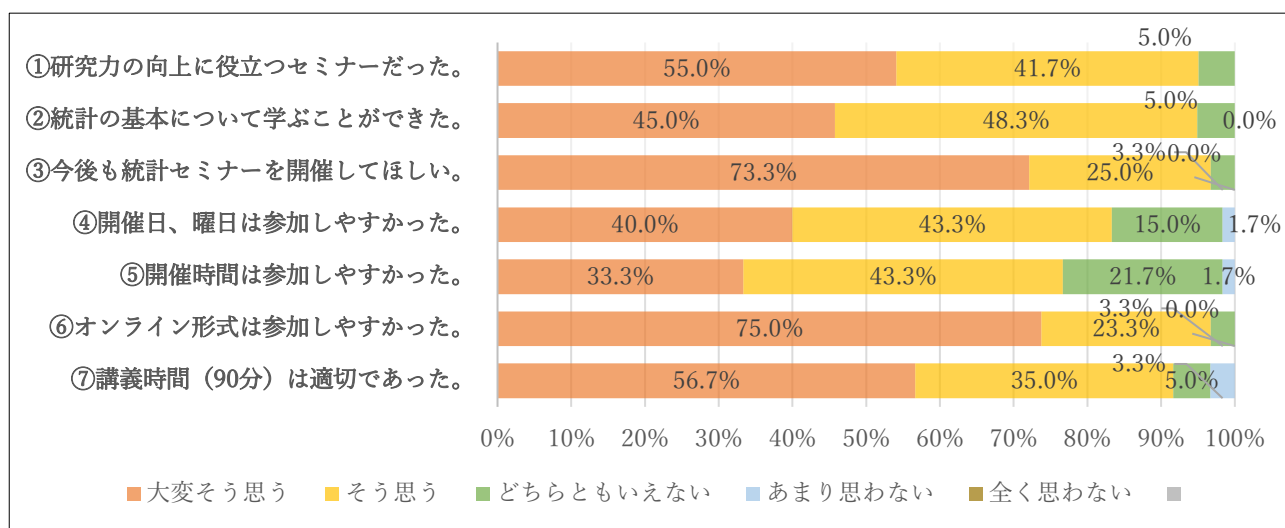


◆職種



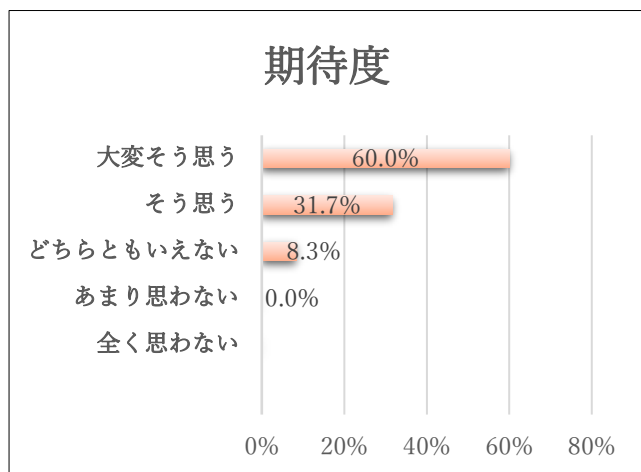
回答者の性別では、女性が41.7%で男性が58.3%であった。
年齢は20代と30代があわせて45.0%、40代以上が55.0%であった。
所属は、徳島大学が61.7%、他機関からが38.3%であった。
職種は、教員が53.3%と最も多く、次いで学部生が15.0%であった。

問 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

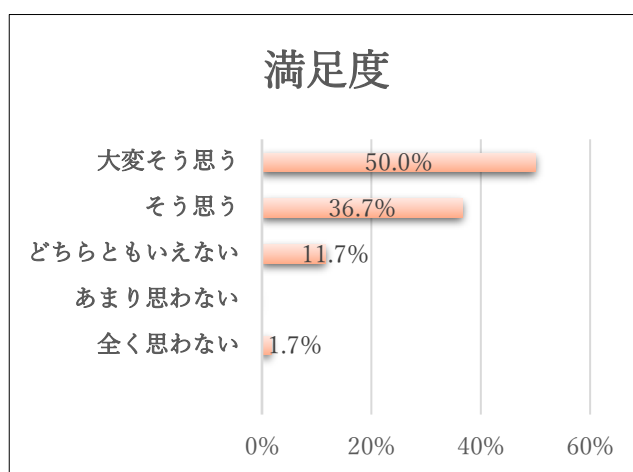


『研究力の向上に役立つセミナーだった』『統計の基本について学ぶことができた』に対して、『大変そう思う』『そう思う』という回答が 96.7%および 93.3%であった。また、『今後も統計セミナーを開催してほしい』に対して、98.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答、ニーズが非常に高いことがわかった。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』83.3%、『開催時間』76.6%、『オンライン形式』98.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、『講義時間(90分)は適切であった』に対しても、91.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答。開催時間については、より遅い開催を望むコメントがあったが、参加しやすい開催形式と適切な講義時間であったと考えられる。

・本セミナーに期待していた

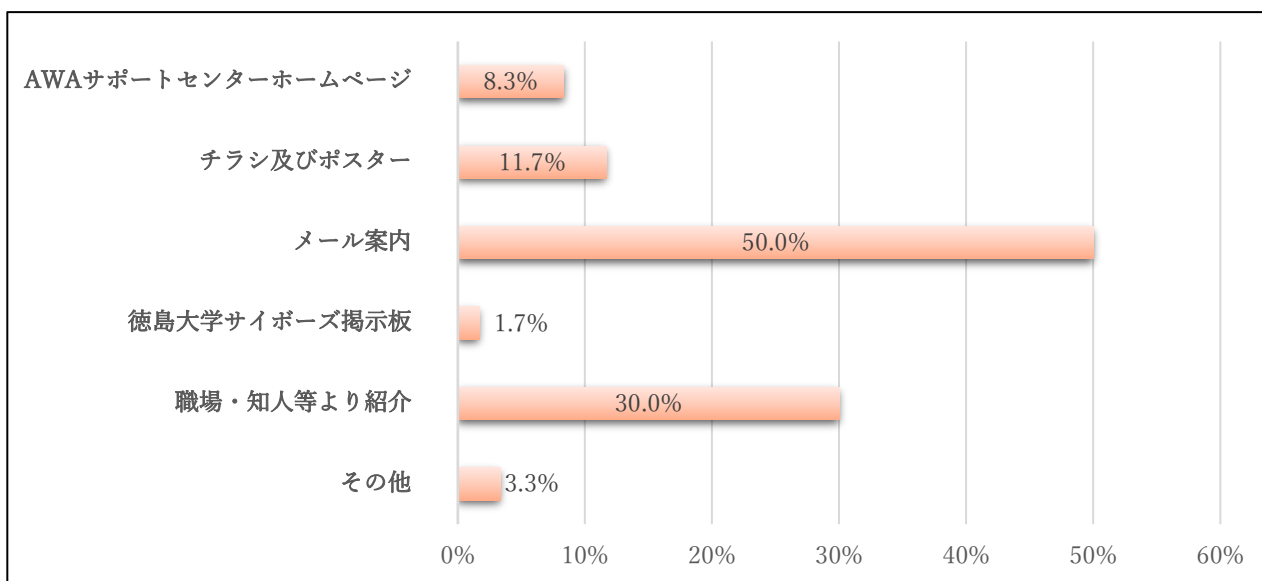


・本セミナーは期待どおりだった



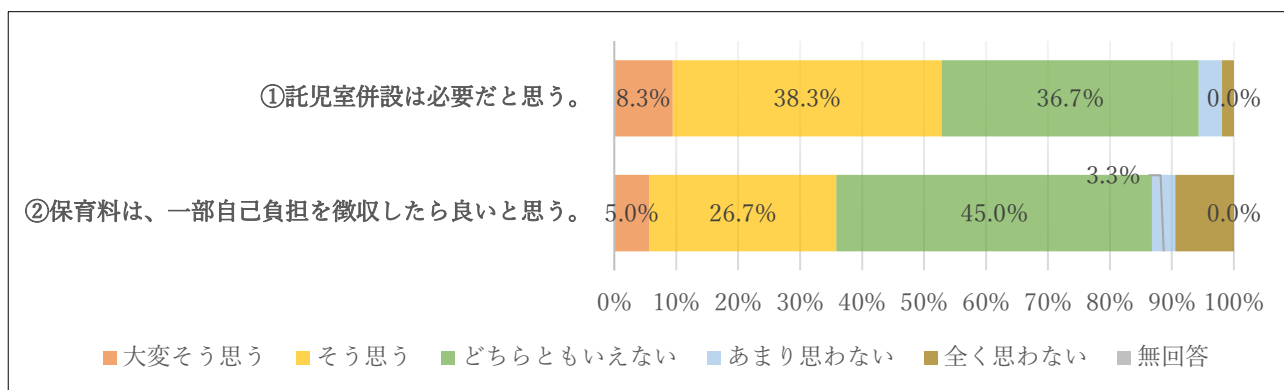
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、91.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、86.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は 4.5 点、満足度は 4.3 点であった。

問 統計セミナー2021 の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『メール案内』が50.0%と最も高く、次いで『職場・知人等より紹介』が30.0%、『チラシおよびポスター』は11.7%であった。

問 オンラインで業務時間外のセミナーを開催する場合の託児についておうかがいします。



オンラインで業務時間外のセミナーを開催する場合に『託児室併設は必要だと思う』に対して、46.6%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『どちらともいえない』が36.7%であった。『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、31.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、『どちらともいえない』が45.0%であった。オンラインでの業務時間外のセミナー開催時の託児室の併設については見解に相違が見られ、また、その場合の保育料自己負担についての同意は30%程度であった。